

第 8 章 港湾・空港

第 1 節 港 湾

1 港湾の概要

本県には、重要港湾が秋田港、船川港、能代港の3港、地方港湾が本荘港、戸賀港の2港、計5つの港湾があり、県は、港湾管理者として港湾整備や管理運営を行っています。

重要港湾の秋田港は、県内の物流の拠点港として内貿・外貿の物流機能の強化と船舶の大型化に対応した整備、船川港は男鹿地域の物流港としての整備、能代港は県北地域の物流港及びリサイクルポートとしての整備を進めています。

地方港湾の本荘港及び戸賀港は海洋性レクリエーション基地・観光振興基地として利用されています。

◆港湾・空港位置図



◆入港船舶及び海上出入貨物(平成28年速報値)

(単位:隻・総トン・トン)

	入港船舶		海上出入貨物(トン)		
	隻数	総トン数	合計	出貨	入貨
秋 田 港	2,756	20,336,467	7,811,986	2,075,028	5,736,958
船 川 港	441	349,746	326,546	95,111	231,435
能 代 港	310	2,647,310	3,724,274	282,118	3,442,156
本 荘 港	78	780	72	0	72
戸 賀 港	189	3,213	220	0	220
計	3,774	23,337,516	11,863,098	2,452,257	9,410,841

※フェリー分を含む。

◆入港船舶総トン数別比較(平成28年速報値)

	県 内 全 域 (秋田港・船川港・能代港・本荘港・戸賀港)			
	隻数	%	総トン数	%
10,000総トン以上	740	19.6%	17,294,357	74.1%
6,000総トン以上	285	7.6%	2,275,276	9.7%
3,000総トン以上	670	17.8%	2,629,142	11.3%
1,000総トン以上	225	6.0%	490,651	2.1%
500総トン以上	459	12.2%	374,204	1.6%
100総トン以上	668	17.7%	262,000	1.1%
5総トン以上	727	19.3%	11,886	0.1%
計	3,774	100.0%	23,337,516	100.0%

◆秋田港外貿コンテナ取扱個数

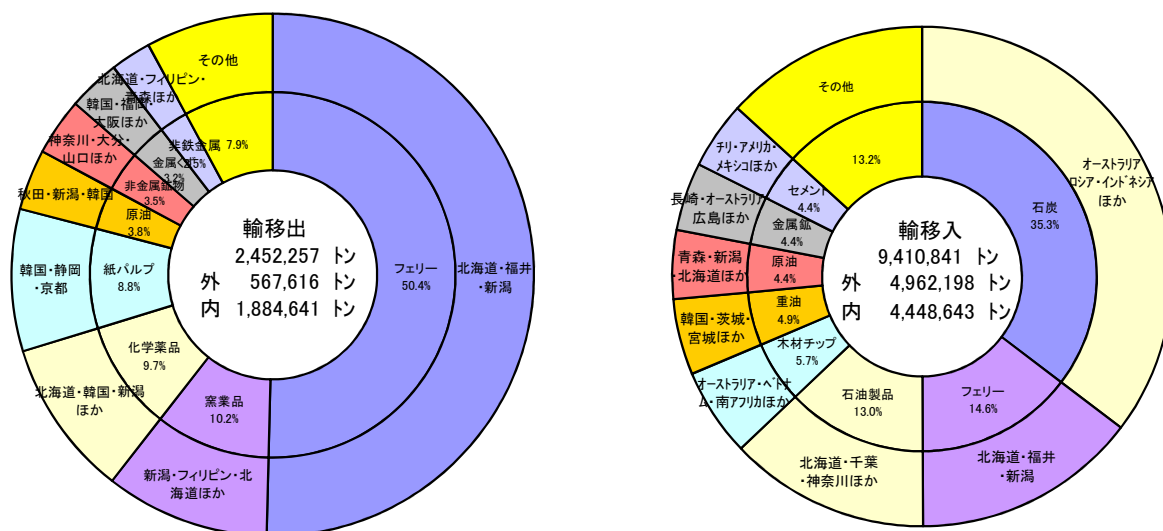
(平成7年11月定期航路開設)

	輸入	輸出	計
平成20年	24,453	22,662	47,115
平成21年	19,435	19,470	38,905
平成22年	25,211	24,054	49,265
平成23年	31,651	30,816	62,467
平成24年	32,202	32,077	64,279
平成25年	34,774	36,361	71,135
平成26年	30,258	33,827	64,085
平成27年	27,541	31,618	59,159
平成28年	36,677	40,480	77,157

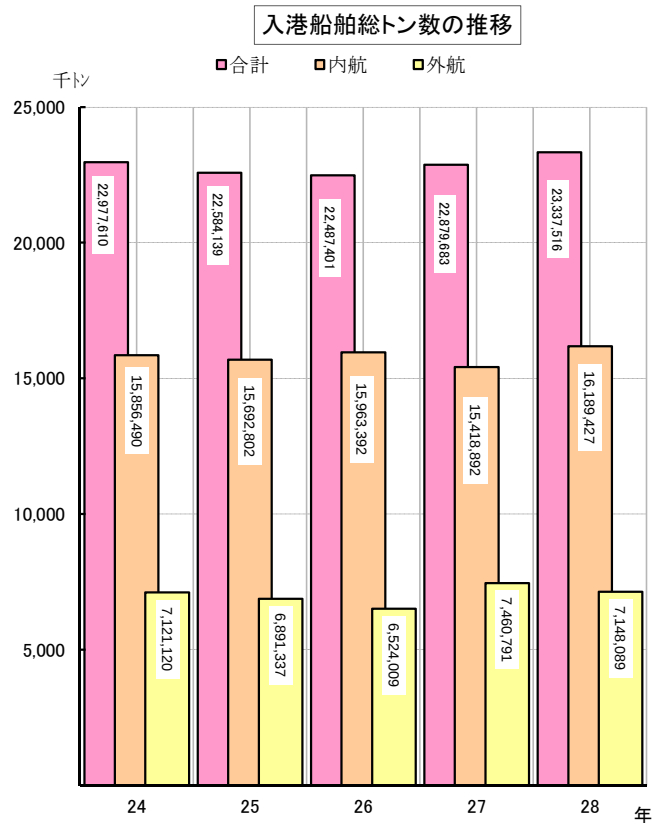
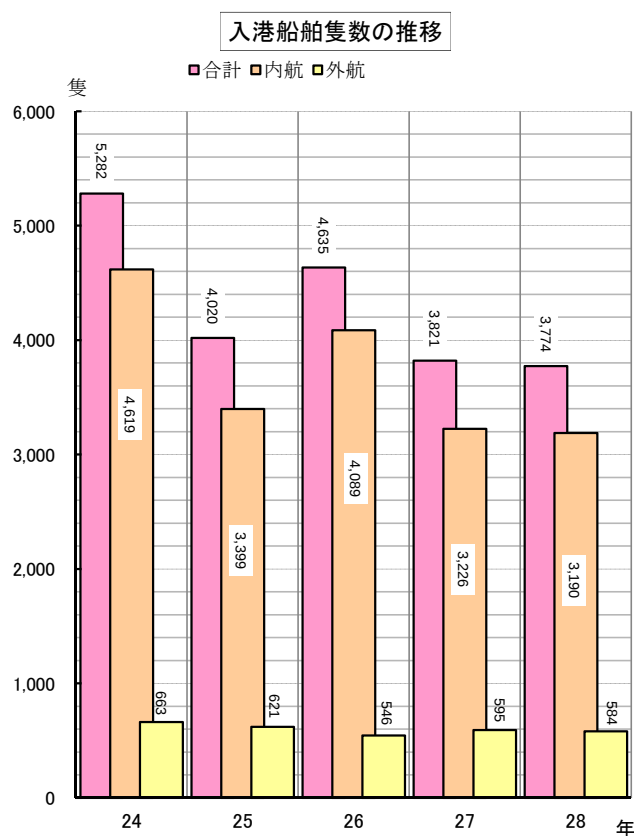
※20フィートコンテナ換算(空コンテナを含む)。

※平成28年は速報値

◆ 出入貨物別品種別比較(平成28年速報値)
県内全港



◆ 入港船舶の動き
県内全港



2 港湾事業

各港の整備方針と事業計画

[秋 田 港]

環日本海交流を支える物流ネットワークの整備に向け、日本海側における物流拠点港としての機能強化を図るため、係留施設等の整備を促進するほか、再生可能エネルギーの導入などの総合的なエネルギー供給基地を目指します。

[平成29年度主要事業]

港内静穏度や航行船舶の安全を確保するため防波堤等の外郭施設や泊地等の水域施設の整備を進めるほか、港内浚渫土砂等の処分場設置及び港湾内洋上風力発電の導入を進めるための検討を実施します。



秋田港全景

[船 川 港]

想定される地震津波から地域住民の生命や財産を守るため、津波対策を促進します。また、港湾利用者の利便性向上を図るため、施設の長寿命化対策等を推進します。

[平成29年度主要事業]

津波対策施設（漂流物防護柵・避難タワー等）の検討を実施するほか、本港地区航路泊地の浚渫を実施します。



船川港全景

[能 代 港]

県北部地域の物流基地としての機能強化、および「秋田県北部エコタウン計画」と連携したリサイクルポートとしての機能確保のため、外郭施設の整備を推進します。

安定した電力の供給を支援するため、能代火力発電所で発生する石炭灰の埋立処分場を整備するほか、再生可能エネルギーの導入などの総合的なエネルギー供給基地を目指します。

[平成29年度主要事業]

港内静穏度や航行船舶の安全を確保するため、外郭施設の整備や改良、泊地の浚渫等を進めるほか、埋立処分場の護岸工事を実施します。また、港湾内洋上風力発電の導入を進めるための検討を実施します。



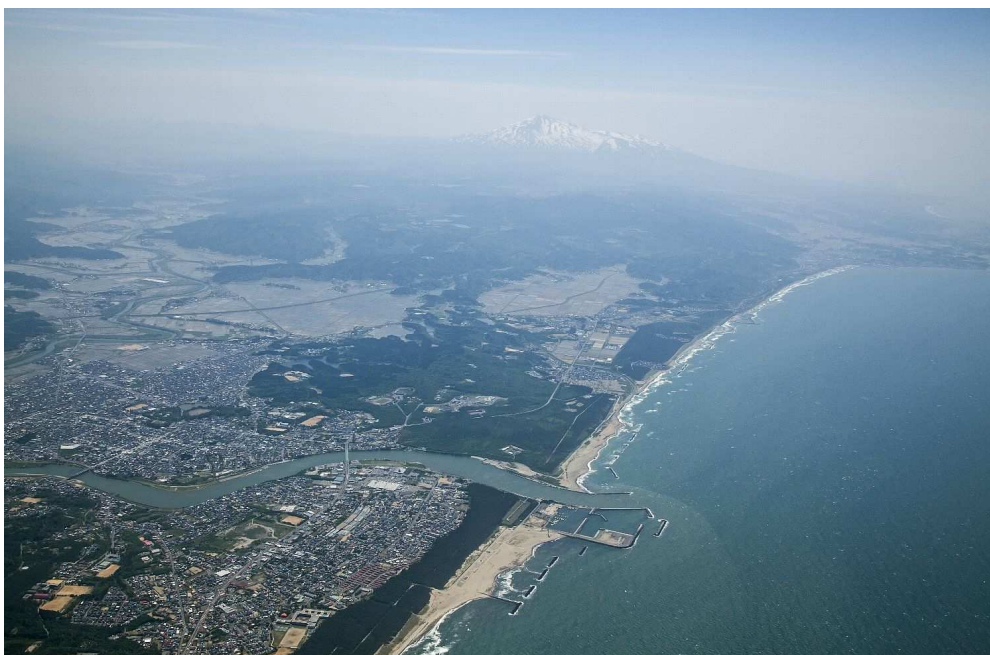
能代港全景

[本 荘 港]

港湾利用者の利便性向上を図るため、施設の長寿命化対策等を推進します。

[平成29年度主要事業]

本荘港の維持管理・臨港道路の除雪を実施します。



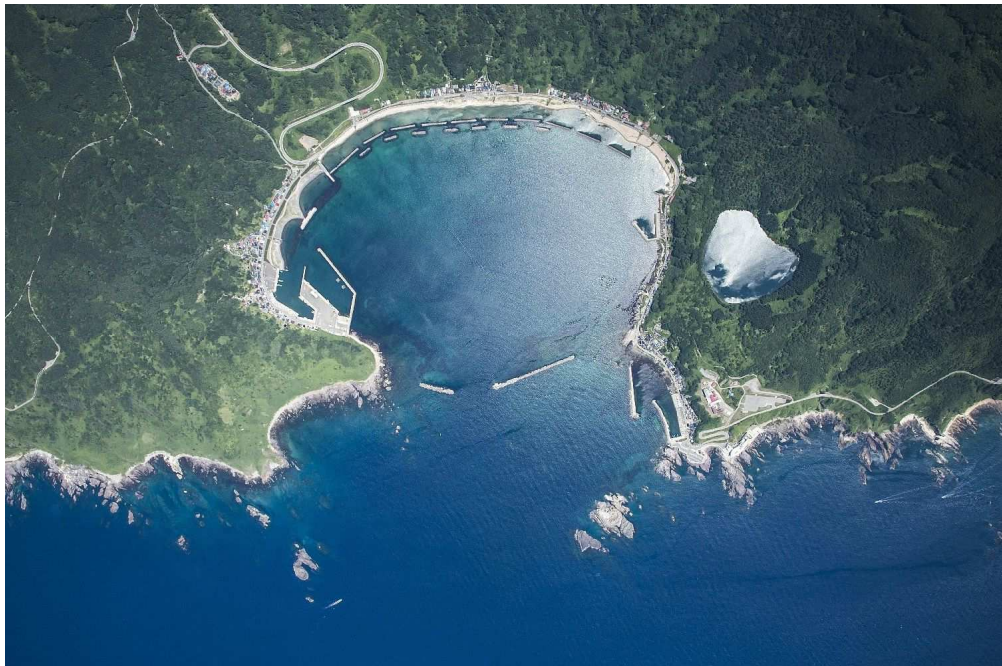
本荘港全景

[戸 賀 港]

港湾利用者の利便性向上を図るため、施設の長寿命化対策等を推進します。

[平成29年度主要事業]

戸賀港の維持管理・臨港道路の除雪を実施します。



戸賀港全景

3 環日本海クルーズ振興の推進

近年全国的に高まりを見せているクルーズ需要を取り込み、地域の活性化を図るため、官民一体によるクルーズ振興を推進します。

[平成29年度主要事業]

環日本海クルーズ推進協議会を通じたクルーズ船の誘致活動や、寄港時における秋田の魅力のPR(「大曲の花火」の打ち上げ等)、歓迎行事(竿燈、なまはげ太鼓、小町娘の出迎え等)を実施するほか、港の受入環境整備(ターミナル施設、屋根付き歩行者用通路等)を行います。



ダイヤモンド・プリンセス(平成29年4月25日秋田港寄港)



ダイヤモンド・プリンセス寄港時の歓迎行事(大曲の花火)

第 2 節 空 港

1 秋田空港の概要

本空港は、JR秋田駅の南東14kmに位置し、面積約160ha、長さ2,500mの滑走路と計器着陸装置(ILS)などを備えています。また空港周辺は、580haの広大な県立公園として整備され、緑豊かな都市公園型空港となっています。

平成13年度には国際定期便(ソウル便)の就航を実現、平成14年には国際航空貨物の取扱いも開始され、さらに利便性の高い空港となっています。

就航路線は、東京、大阪、札幌、名古屋、ソウル(運休中)の5路線で、着実に県民の足として定着しています。



秋田空港全景

◆ 空港施設の概要

設置者	国土交通大臣	場周道路	長／6,455m 巾／5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	45,849㎡(2,232台)
空港の名称	秋田空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田市雄和椿川	無線施設	ILS(計器着陸装置)・VOR/DME
空港の標点	北緯39° 36′ 56″		(超短波全方向式無線標識／距離測定装置)
	東経140° 13′ 07″	庁舎管制塔	一式
空港の標高	93.05m	通信施設	一式
空港の種別	特定地方管理空港	気象施設	一式(風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,589,656㎡	消防施設	40t水槽8基(化学消防車3台)
着陸帯	長／2,620m 巾／300m	防雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長／2,500m 巾／60m	ターミナルビル	国内線棟3階建(10,995㎡)国際線棟(一部3階建3,620㎡)
誘導路	長／2,830m 巾／30～34m	貨物ビル	2棟
エプロン	長／310m 巾／190m(5パース)	給油施設	200kl／2基
排水施設	一式	燻蒸・焼却施設	一式

[平成29年度主要事業]

空港の機能維持のため、誘導路の舗装改良を行います。

そのほか、航空機の円滑な運航を確保するため、「雪戦隊なまはげ」による除雪を実施します。

2 大館能代空港の概要

本空港は、県北部の北秋田市脇神に位置し、面積は約120haで、長さ2,000mの滑走路と計器着陸装置(ILS)などを備えています。

平成10年7月18日に開港し、就航路線は、東京の1路線となっています。また、空港周辺には緩衝緑地帯を活用した「ふれあい緑地」が整備され、センターハウス、クロスカントリースキーコース、展望台等の施設を備えています。

◆ 空港施設の概要

設置者	秋田県知事	場周道路	長／5,423m 巾／5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	13,510㎡(386台)
空港の名称	大館能代空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	北秋田市脇神	無線施設	ILS(計器着陸装置)・VOR／DME
空港の標点	北緯40° 11′ 31″		(超短波全方向式無線標識／距離測定装置)
	東経140° 22′ 18″	庁舎管制塔	一式
空港の標高	84.0m	通信施設	一式
空港の種別	地方管理空港	気象施設	一式(風向風速・雲高・視程計等)
空港の総面積	1,214,240㎡	消防施設	40t水槽9基(化学消防車2台)
着陸帯	長／2,120m 巾／300m	防雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長／2,000m 巾／45m	ターミナルビル	地上2階建一部3階建(4,062㎡)
誘導路	長／230m 巾／30m	貨物ビル	1棟
エプロン	長／225m 巾／110m(4バース)	給油施設	200kl／1基
排水施設	一式		



大館能代空港全景

[平成29年度主要事業]

空港の機能維持のため、必要な補修を行います。